

## 日本 SPF 豚研究会誌

## 「All about SWINE」投稿のお願い

SPF 豚の普及に役立つ調査・研究論文および防疫、飼養、流通、消費等に関する解説・資料等の原稿を募集しております。下記要領にご留意の上、ご投稿下さい。

1. 原稿は原則としてワープロを使用してA4用紙に横書きで作成して下さい。手書きの場合は、400字詰原稿用紙を使用して下さい。
2. 原稿の1枚目には表題（英文表題も併記）、投稿者名（ローマ字表記も併記）、所属機関名（郵便番号および住所）を記して下さい。2枚目以降の記述形式は特に定めませんが、資料等を引用した場合は末尾に「参考資料」または「引用文献」の項目を設けて下さい。
3. 表は原則として縦罫線を使用せず簡潔なものとし、また図はそのまま印刷が可能なように白色紙または方眼紙に黒色で記入して下さい。写真は原寸印刷が可能なように原則として横7cm程度、縦7cm以下として下さい。
4. 原稿の送付先は当分の間「〒305-0856 つくば市観音台3-1-5 独立行政法人・動物衛生研究所 小林秀樹」までお願いします。

## [編集後記]

「私たちにとって最大の危機は高きを目指して失敗することではなく、低きを目指して達成することである」(ミケランジェロ プオナローティ)

「バベルの塔」や「ジャックと豆の木」、いずれも天高く上へ、上へと伸びていきます。とてつもなく高いところには未知なる楽園や神の世界があ

ると考えられたのです。ドバイや上海の摩天楼ホテル、そしてスカイツリー...これらも現代のバベルの塔なのかもしれません。ちなみに「バベルの塔」は実現不可能な天に届く塔を建設しようとして、崩れてしまったということにちなみ、「空想的で実現不可能な計画」を意味するそうです。中世ヨーロッパで盛んに研究された「錬金術」もそうでした。しかしながら、その実現不可能でもその努力から得られた膨大な経験は現在に至る科学技術の発展に大きく寄与しました。

もしあなたがあなたの宝物を絶対に見つからないところに隠すとすれば何所にします？いろいろな場所が候補に挙がるような気がしますが意外と同じような答えが多く返ってくるような気がします。十人十色とはいいますが実際には2,3色もないのかもしれませんが。研究も発想も十人十色、1億人で1億色だせる社会であつたらいいなと思います。

半世紀近くかけ、ただ横にばかり伸びてしまった自分を反省しつつ、今年は心身ともに成長したいものです。

(小林)

## 「All about SWINE」

第37,38号

2011年2月発行 定価1,500円

発行者 井上 忠 恕

編集者 小 林 秀 樹

発行所 日本 S P F 豚 研 究 会

事務局 (株)伊藤忠飼料研究所

予防衛生チーム内

〒325-0103

栃木県那須塩原市青木 919

Tel : 0287(64)8652

Fax : 0287(63)8384